

【主担当部局：雇用経済部観光局】

県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さん、市町、観光関連事業者、NPO法人等と連携を図り、マーケティングを実施し、マネジメントおよびPDCAサイクルの方法を取り入れた取組を推進することにより、国内外の来訪者から何度でも訪問したい観光地として三重県が選ばれるとともに、観光関連産業が三重県経済をけん引する産業のひとつとして確立し、地域が持続的に発展しています。

平成 31 年度末での到達目標

第 62 回神宮式年遷宮後の観光入込客の減、また、人口減少・少子高齢化による国内観光市場が縮小傾向にある状況においても、伊勢志摩サミット開催の経験や三重県の特性を生かした国内外誘客の取組、さらなる観光の産業化を進めることで、「みえの観光」のグレードアップが図られ、観光関連産業が活性化しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度		31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
観光消費額		4,850 億円	4,900 億円	4,950 億円		5,000 億円 以上
	4,830 億円	4,919 億円	5,273 億円			
目標項目の説明と平成 31 年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	観光客が県内において支出した観光消費額（交通費、宿泊費、飲食費、入場料、土産代等）					
31 年度目標値 の考え方	国際観光地としてのレベルアップを図り、三重県内での滞在時間を伸ばすこと、外国人旅行者の倍増、三重ファンの増加による周遊性の拡大、宿泊比率の向上により、平成 31 年には 5,000 億円以上にすることを目標に設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度		31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
33201 持続可能な観光地づくり (雇用経済部観光局)	県内の延べ 宿泊者数		980 万人	990 万人	995 万人		1,000 万人
		946 万人	930 万人	832 万人			
33202 インバウンド倍増戦略の展開 (雇用経済部観光局)	県内の外国人延べ宿泊者数		390,000 人	410,000 人	430,000 人		450,000 人
		391,740 人	351,870 人	334,230 人			

基本事業	目標項目	27年度	28年度	29年度	30年度		31年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
33203 伊勢志摩 サミットの好機 を生かしたM I C E誘致（雇用 経済部観光局）	国際会議開 催件数（累 計）		4件	8件	13件		20件
		—	17件	25件			
33204 人にやさ しい観光の基盤 づくり（雇用経 済部観光局）	観光客満足 度		22.5%	23.5%	24.5%		25.5%
		21.5%	26.7%	18.5%			

現状と課題

- ①平成31年度には10年先となる2030年頃の三重県観光の姿を思い描き、世界の人々から旅の目的地と選ばれるよう、新たな観光振興基本計画の策定に取り組む必要があります。
- ②国の宿泊旅行統計調査によると、三重県の平成30年1月から8月の延べ宿泊者数（速報値）は、約579万人で対前年同期比は103.0%となり、外国人延べ宿泊者数（速報値）については、約22万7千人で対前年同期比111.6%となりましたが、全体に占める外国人の割合は約4%に留まっています。宿泊者の増加を図るため、地域DMOや観光関連事業者、市町等と連携しながら、官民が一体となった誘客を展開していく必要があります。
- ③「みえ観光の産業化推進委員会」では、「みえ食旅パスポート」の利用促進や「日本版DMO」創設・支援に向けた取組、大都市圏等へのプロモーションなどを展開することにより、三重県観光の質を高め、観光の産業化を推進し、観光消費額の増加につなげる取組を引き続き進めています。
- ④「みえ食旅パスポート」の発給数は約47万部（10月末時点）に達しています。平成31年3月末の終了に向けて、引き続き、パスポートの利用促進に向けた取組を展開し、観光客の周遊性・滞在性の向上と地域の消費拡大を図ります。
- ⑤大都市圏等からの誘客を促進するため、JR東海、近鉄、NEXCO中日本、JAL、ANAなど交通事業者との連携によるプロモーションや県内各地への周遊促進などの取組を引き続き展開していきます。また、本年度は宿泊率の高い関西圏からの宿泊促進に取り組んでいますが、新名神高速道路の県内区間の全線開通を見据え、大都市圏からの宿泊促進に取り組む必要があります。
- ⑥「日本版DMO」創設・支援に向けた取組では、（公社）三重県観光連盟が平成30年7月に地域連携DMOとして登録を受けました。既に県内で設立された地域DMO法人1団体、地域DMO候補法人6団体や観光関連事業者等の観光地域づくりを支援できるよう、（公社）三重県観光連盟と県の連携を強化していく必要があります。

- ⑦海外誘客については、「MIE, Once in Your Lifetime（一生に一度は訪れたい三重県）」としての観光ブランディングを高め、増加する個人の外国人旅行者（F I T）の誘客を図るため、SNSを活用した「#VISITMIE キャンペーン」を実施し、三重県観光情報の拡散や認知度向上に取り組んでいます。台湾市場においても日台観光サミットの三重県での開催から5周年となることを機に、三重県と台湾との関係を強化するとともに、急速に個人旅行（F I T）化が進む台湾市場の動向に対応するため、現地の有力媒体や三重県PRアンバサダー等を活用したF I T誘客キャンペーンを展開しています。また、日本を訪れる外国人旅行者の旅行ニーズの多様化や地域の特色を生かした体験型観光への需要が高まっていることから、OTA（インターネット上で取引を行う旅行会社）や観光案内所を活用したプロモーションにより、本県の体験プログラムの流通の促進を図っているところです。ゴルフツーリズムについては、世界的に権威のある「国際ゴルフツアーオペレーター協会」が主催するイベント「日本ゴルフツーリズムコンベンション2018」を日本国内で初めて開催（平成30年10月）し、コンベンション参加者に対して商談会やセミナー、県内ゴルフ場や観光地の視察等を通じてゴルフ旅行の目的地としての本県の魅力PR及び知名度向上を図りました。引き続き、外国人旅行者のニーズや効果的なPR手法を精査しつつ、旅の目的地として選ばれるよう取組を強化していく必要があります。
- ⑧M I C E誘致については、営業委託による県外でのセールスや大学等への営業活動によりM I C E開催地としての三重のブランドイメージの確立に向けて取り組んでいます。6月26日から28日にかけて、志摩市においてサミット後、初となる政府系の国際会議「第16回日ASEAN次官級交通政策会合」が開催されました。一方、県外関係者が主催する会議の誘致を増やすことが課題となっています。今後、東京オリンピック・パラリンピックの開催により首都圏の多くの会議場が利用しにくくなる2020年に向けて、県外主催者に三重県への誘致を働きかける必要があります。
- ⑨宿泊施設の働き方改革については、(株)リクルートライフスタイルと連携し、宿泊施設の経営者を対象とした研修等を実施し、意識の醸成や各施設での取組を促進しています。この成果を県内業者に水平展開するなど、宿泊業の魅力向上支援に取り組む必要があります。
- ⑩バリアフリー観光の推進については、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと連携し、宿泊施設等に対するパーソナルバリアフリー基準による調査やアドバイス、観光ガイドボランティアに対する実践研修を実施しています。今後も、「日本一のバリアフリー観光県推進宣言」に基づき、三重県版バリアフリー観光を普及し、県内におけるバリアフリー観光の受入環境の充実等、障がい者や高齢者、外国人も安心して訪問できる三重県の魅力ある観光地づくりを進める必要があります。また、災害発生時の観光客の安全確保を図るため、関係団体等と連携し、観光地における防災対策に取り組む必要があります。

平成31年度の取組方向

- ①「みえ観光の産業化推進委員会」において「観光の産業化」の推進に向けて取り組んだ事業の成果と課題を検証するとともに、観光関連事業者やDMO等と連携しながら、三重県の魅力の発信や体験メニューの充実、キャッシュレスなどの受入環境の充実など、オール三重で魅力的な観光地づくりを進めることで、地域の稼ぐ力を高め、観光消費額の増加につなげていきます。
- ②観光を稼げる産業とするため、リピーターや三重ファンの増加に向けて、デジタルツールを活用した観光マーケティング活動につながる仕組みを確立し、より戦略的な観光コンテンツの開発やサービス提供につなげるよう取り組めます。

- ③大都市圏等からの誘客及び宿泊を促進するため、引き続き、鉄道、航空などさまざまな交通事業者等と連携し、発地での情報発信や誘客促進などに取り組みます。また、本県観光の新たなゲートウェイとして、クルーズ船のさらなる誘致と受入体制の向上に取り組みます。
- ④「MIE, Once in Your Lifetime(一生に一度は訪れたい三重県)」をキャッチフレーズに三重県観光のブランディングに取り組みます。増加する個人の外国人旅行者(FIT)の誘客に向けて、「客が客を呼ぶサイクル」を構築するため、特に旅行のトレンドをリードするミレニアル世代において影響力を有するSNSを活用したInstagram「visitmie」等による情報発信の充実を図るとともに、近隣自治体等と連携したインバウンド誘致を進めます。また、農林水産部と連携し体験メニューの整備や流通促進に取り組むとともに、「日本ゴルフツーリズムコンベンション2018」の成果を生かし、ラグビーW杯や東京オリンピック・パラリンピック時の本県への誘客も見据えた、欧米諸国及びアジアから富裕層等の誘客を進めます。
- ⑤国際会議等MICEについては、県内主催者が開催しやすい環境づくりに引き続き取り組むとともに、県外関係者が主催する会議の誘致を進め、より多くの国際会議等MICEの誘致・開催を実現できるよう取り組んでいきます。
- ⑥宿泊施設が実践する働き方改革や生産性向上に資する先進事例を県内の宿泊施設に広げるための展開を図ります。
- ⑦パーソナルバリアフリー基準による、三重県版バリアフリー観光が浸透するよう、県内におけるバリアフリー観光の受入環境の充実等を図ることで、障がい者や高齢者、外国人も安心して訪問できる三重県の魅力ある観光地づくりを推進していきます。また、観光客の安全を確保し、安心して快適な県内の観光旅行を提供するため、関係団体等と連携し観光客の防災対策に取り組みます。

主な事業

- ①みえ観光の産業化推進委員会負担金【基本事業名：33201 持続可能な観光地づくり】
 予算額：(30) 83,778千円 → (31) 50,873千円
 事業概要：観光の産業化と持続可能な観光地域づくりを推進するため、県内の地域DMO等観光地域づくりを行う団体への支援、交通事業者等との連携による大都市圏でのプロモーション、クルーズ船寄港時における受入体制の充実・強化、宿泊業の働き方改革などに取り組みます。
- ②(新)三重県版観光スマートサイクル確立事業
 【基本事業名：33201 持続可能な観光地づくり】
 予算額：(30) ー 千円 → (31) 50,000千円
 事業概要：個人の外国人旅行者(FIT)の増加に対応するため、動画を活用したブランディングプロモーションを実施します。また、国内外の来訪客の顧客データを管理、分析する仕組みを構築し、戦略的な観光マーケティング基盤を確立します。あわせて、キャッシュレス化の推進について実証事業を含めた検討を行います。
- ③海外誘客推進プロジェクト事業【基本事業名：33202 インバウンド倍増戦略の展開】
 予算額：(30) 37,419千円 → (31) 45,058千円
 事業概要：インバウンドの拡大を図るため、欧米・アジアからの富裕層等の誘客に取り組むとともに、個人の外国人旅行者(FIT)の増加をふまえたSNS等による情報発信や海外からの教育旅行の誘致に取り組みます。

海外M I C E 誘致促進事業

【基本事業名：33203 伊勢志摩サミットの好機を生かしたM I C E 誘致】

予算額：(30) 21,373千円 (31) 16,245千円

事業概要：安定的に開催地域への大きな経済波及効果を生み出す国際会議等M I C E の開催を促進するため、県内主催者が国際会議を開催しやすい環境づくりや、セールス活動による県外関係者主催会議の誘致に取り組みます。

観光事業推進費【基本事業名：33204 人にやさしい観光の基盤づくり】

予算額：(30) 30,753千円 (31) 24,590千円

事業概要：観光振興を推進するため、新たな観光振興基本計画を策定するとともに、関係団体との連携や、観光客の動向分析に必要な観光客実態調査、三重県版バリアフリー観光の推進、観光防災等に取り組みます。